

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	スマイルキッズステーションきらきら（児童発達支援事業）			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が過ごしやすい環境、スペースとなっている	利用者の状況に合わせて、グループ分けを行い、安心して過ごすことができるスペースにしている。また活動の部屋を利用者様本人が確認できるように、視覚情報を提示したり、声かけを行い、分かりやすい環境にしている。	視覚情報の提示を継続して行い、分かりやすい、過ごしやすい場所を提供できるよう取り組む。
2	専門職がそれぞれの立場で、活動計画立案に加わり、サービス提供をしている。	活動後、活動前に話し合いを行い、反復して課題に取り組めるよう活動計画を立てている。	全ての職員が自発的に考えて、行動ができるよう、意識付けを行っていく。
3	支援の内容について、園や保護者との連携がとれている。	児童発達支援管理責任者が中心となり、連絡帳、電話などで保護者や園とは密にやり取りを行っており、相談しやすい関係づくりができています。	保護者や園との連携内容について、職員間で共有をし、支援の方向性を統一し、利用者の成長につながるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画に基づいた取り組みなど、事業所からの発信が少ない。	事業所での取り組みについて、HPなどで発信しているが、更新が少ない。	更新の方法を、複数の職員に共有し、更新の頻度を上げていく。お便りにも研修会の様子などを掲載していく。
2	保護者会の開催など、保護者同士が交流できる機会の提供が必要。	会場や駐車場などの確保など、どのような形で保護者交流の場が作れるか、検討中である。	今年は初めてご家族で参加ができるイベントを企画した。不慣れなこともあり、告知が直前になり、参加ができないご家族もいらっしゃった。毎年、回を重ねて、保護者やご家族同士が交流できる機会にしていきたいと思う。
3	ペアレントトレーニングなど保護者向けの研修会などが行われていない。	保護者からの相談や子育て支援については、個別に対応をしており、研修会という形での実施が難しい。	職員が受けた研修の内容などを、HPやお便りに掲載をし、子育て支援に関する情報も発信していけるように取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルキッズステーションきらきら（児童発達支援）

公表日 令和 7年 12月 29日

利用児童数 27

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0		引き続き、十分なスペースをとって支援に当たる
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	7		こどもたちの特性や支援内容に合わせて適切な職員を配置する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	1		視覚情報を補いながら、分かりやすい環境にする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0		午前午後1回づつ、清掃、消毒を行っている。継続して取り組む
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2	0	0		こどもたちの特性に合わせて、職員を配置する。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		毎年支援プログラムの見直しを行い、こどもたちに合ったものにする。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		保護者や関係者から聞き取りを丁寧に行い、こどもに合った内容にしていくよう、引き続き取り組む
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	1		5領域、家族支援、移行支援に合わせた内容であるように見直し、点検を行っていく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	1	0	言葉の練習の取り組みについて	児童発達支援計画の説明を丁寧に行い、ご理解を頂ける内容になるよう取り組んでいく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1		反復練習が必要なため、同じ内容が続く時もあるが、変化を持たせながら行っていく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	0	0	5		平行通園児が多いため、療育の中で保育園等に行くことはない。地域の資源を利用していける機会を考える。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		継続して取り組む。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		継続して取り組む。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	1	9		自事業所での開催は時間や場所の都合で難しいが、公共機関での研修会は発信していく。小規模なものから自事業所で取り組んでいけるよう検討する
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	3	0	0	仕方ないと思いますが、直接会う機会が少なくいです。	相談しやすい環境づくり、発信をしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0	定期的がどれくらいを指すのかわからない。いつも相談にのって頂きありがとうございます。	回数や期間にこだわらず、必要に応じて行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	1		こどもに寄り添った支援、保護者に寄り添った相談支援ができるよう、内部研修などで質を高めていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	2	10	秋祭りは温かい雰囲気楽しかったです。	初めて秋祭りを開催し、ご家族、ご兄弟に参加頂く機会を作ったが、周知が十分ではなかった。時間的に余裕を持って行っていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	0	1	無回答あり	相談して頂きやすい、体制作りを行っていく。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	0	無回答あり	連絡帳やLINE等でのやり取りを行っているが、継続していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	1	無回答あり お便りの写真で様子が分かります。	月に1度お便りを出している。またHPでも公表しているが、掲載回数を増やし、周知していきたいと思う。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	0	無回答あり	継続して取り組む。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	10	無回答あり	訓練の様子をHPに掲載しているが、周知が不十分だと思う。HPについてもお伝えしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	13	無回答あり 見たことがなかったため、分からないにしました。	非常時の準備や避難訓練、救命研修を行っているが、周知が不十分だと思う。HPについてもお伝えしていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	5	無回答あり 感染症に関しては、お便りで確認できます。	安全計画に沿って訓練やマニュアルの見直しを行っているが、周知が不十分だと思う。HPについてもお伝えしていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	4	無回答あり	擦り傷などがあった場合も、連絡帳や電話で連絡を行っている。事故防止の強化につとめ、未然に防いでいきたい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	無回答あり	継続して取り組む。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	無回答あり 活動や先生のことは大好きです。きらきらの日は喜んで行きます。	継続して取り組む。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0	無回答あり	継続して取り組む。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スマイルキッズステーションきらきら（児童発達支援事業）	公表日	令和7年	12月	29日
------	-----------------------------	-----	------	-----	-----

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別に対応が必要な児に対しては、個室を利用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要に応じて個別対応をしたり、複数のスタッフで対応をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚情報を提示している	提示を忘れていた時がまれにあるため、日々のチェックを行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		午前、午後に1回ずつ清掃を行っている	壁の剥がれた部分などの修繕など、全職員が自ら気付いて行うよう指導をする
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		安全上、配慮されたうえで可能である。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		活動前、活動後に行っている。	都度、職員1人1人が主体的に参加するよう意識づけは必要である。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1度行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		気付いた時に話し合っている。	機会を事前に決めて設定する必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価はしていない。 運営指導を定期的にうけている	検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1度の内部研修と、希望者は外部研修に参加している。外部研修のあと周知している。	伝達研修の講師をする機会を設け、人前で発言する機会を作り、一人ひとりの資質を向上するよう努める。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援会議等で行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議等で行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有されている。いつでも確認できる。	支援内容、方向性をさらに統一していくために、定期的に確認をし、ぶれないように工夫が必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルアセスメントを外部で受けた場合は保護者に共有して頂き、参考にしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容を参考にし計画を立てている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動前に行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		反復の必要がある物についても、変化を加えながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児の情緒面や特性などにより、柔軟に対応をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動前に行っている。	職員1人1人が主体的に行っていくよう、意識づけは継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りの話し合いが出来ないことが、まれにある。日ごろは振り返りをし、次の活動内容で反復している。	振り返りで気付いたことが、次の支援で確認できるよう、ニーズを常に確認できるようにする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別記録を取っている。	支援内容をどのように改善していくか、具体的に決めていくよう、継続して取り組んで行く。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者や関係機関にも意見を伺っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		専門職にも参加をしてもらっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		園や関係機関に定期的に情報を共有できるよう、努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園の先生と共有できている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを作成し、保護者から学校へ提供して頂いている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	まだ、助言を受ける機会はないが、仕組みは知っている。またセンターが主催する研修会には参加をしている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	併行通園児が多いことから、療育活動中に交流する機会はない。	地域の資源は、安全に配慮しながら利用を検討する
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や電話などで行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	自事業所で研修会は行っていないが、公的機関の開催する研修会については、周知している。保護者支援は個別におこなっている。	小規模から検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約、作成時に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		担当者会議やモニタリングの時に確認を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成時に説明を行い、署名を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要時に連絡をしている。また連絡帳で日ごろの様子は共有している。気になったことがあれば、こちらから連絡をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		秋祭りを行い、保護者や兄弟児が参加できた。	継続して開催できるようにする
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者の要望に沿って、電話やLINEで迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		きらきらだよりを月1回発行している。Hpを更新している。	HPの更新頻度を上げる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員研修、新人研修でも周知している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやサインなど、導入する時に説明を行い共有している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方を招待したことはない。	秋祭りに関係機関や地域の方をおよびできるように体制づくりをしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時に説明をしたり、訓練をした時にHPに掲載している。	HPの認知度が低いため、周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練、総括をおこなっている。	色々な災害を想定して行う必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者に共有頂いている。病院との連携システムを導入し、連携を取りやすくしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者に共有して頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、見直しを行っている。	日々の中でも、各自が安全管理に意識を向けていけるよう意識づけしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明をしている。	HPなどで取り組みについて周知していく必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度、記録をしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		内部研修、外部研修に参加をしている。	支援の質を高めていくとともに、風通しの良い環境づくりを行う。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		対象者はいないが、内部研修、外部研修に参加をしている。	行動の制御にならないよう、支援の質の向上を高めていく。